

住宅履歴情報のある家が当たり前になるための活動、普及・啓発・研究・技術開発

野城智也・腰原幹雄・中城康彦・齊藤広子・西本賢二
 一般財団法人 ベターリビング
 一般社団法人 住宅履歴情報蓄積・活用推進協議会



住宅、すまいは、私たち国民一人一人にとって、とても大切なものです。命をささえ、生活をささえ、そして大切な資産でもあります。ところが、このように大切な住宅をしっかりと維持管理するための情報は散在しており、きちんと蓄積・活用されていない状況でありました。そこで、わたくしどもは「これからは住宅履歴情報がある家が当たり前」にしようと活動を始め、住宅履歴情報の蓄積・活用の仕組みづくり、普及、啓発を行ってまいりました。

SMILEプロジェクト
平成17～19年度

住宅履歴情報「いえがるて」の原型となる
ビジネスモデル・情報システムのプロトタイプの開発

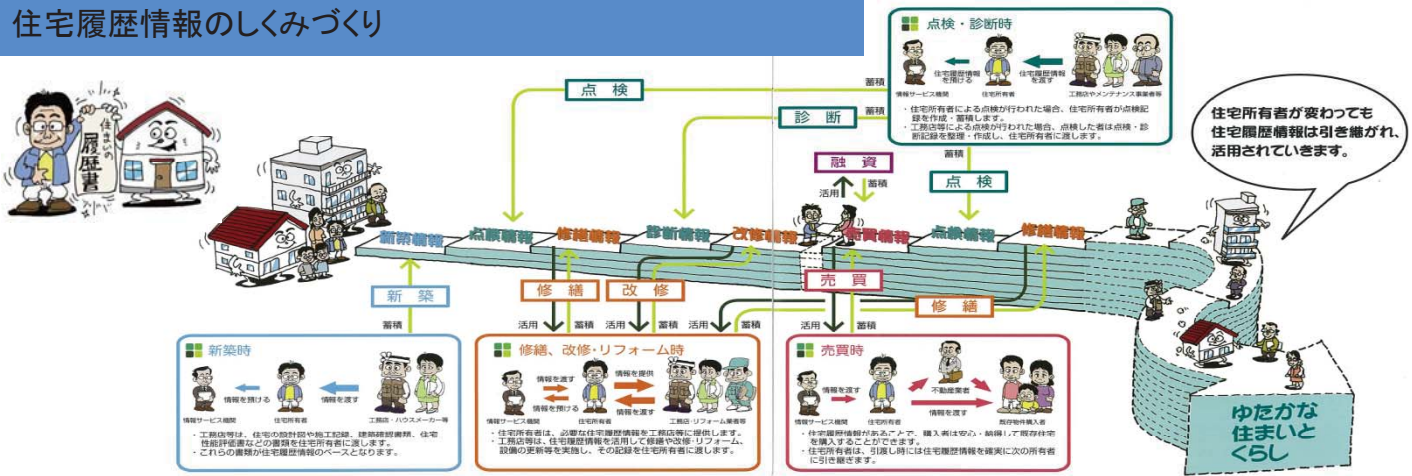
住宅履歴情報整備
検討委員会
平成19～21年度

住宅市場における標準として、住宅履歴情報の蓄積・活用のあり方や基本的に蓄積すべき情報項目の内容、情報サービス機関に関する共通の仕組み等について検討

平成22年～
住宅履歴情報蓄積・
活用推進協議会
(平成22年5月発足)

住宅履歴情報サービスの基本指針の策定、共通の業務ツールの整備等の住宅履歴情報サービスの公正かつ適正な実施を図ることを目的とした活動及び住宅履歴情報の蓄積・活用の普及のための活動を実施

住宅履歴情報のしくみづくり



住宅履歴情報の普及活動



パンフレットの作成



HPIによる情報提供



普及シンポジウムの開催